

環境経営レポート

協成エンジニアリング株式会社

2024 年度

(対象期間: 2024 年1月1日～ 2024 年12月31日)

(取組期間: 2024 年1月1日～ 2024 年12月31日)



目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	5
事業の紹介	5
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	6
主な環境負荷の実績・環境経営目標及びその実績	7
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画（電力・都市ガス）	8
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画（ガソリン・一般廃棄物）	9
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画（産業廃棄物・水道水）	10
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画 （環境に配慮した工事の推進・課題を解決しチャンスを活かす取組）	11
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無 緊急事態対応訓練	14
代表者による全体の評価と見直し・指示 これまでの環境活動の紹介	15

当社は、1961年に創立以来、大阪ガスネットワーク(株)様を始め、全国のガス事業者様に㈱協成製のガバナ(整圧器)・バルブ(遮断弁)を主とした保守点検・管理を専門的に実施してきました。世界的な脱炭素の潮流の中で、再生可能エネルギーを補完する意味でも、LNGは重要となってきていますので、更なる信頼のおける「エンジニアリング会社」として皆様にお応えして参ります。EA21を通じて、かけがえのない地球環境の保全と地域社会との共生を目指し、社員一丸となって環境活動に自主的・積極的に、取り組んで参ります。

環 境 経 営 方 針

協成エンジニアリング㈱環境経営方針

経営理念

『社会に貢献する企業たれ』

環境経営方針

経営理念をふまえ、当社はよき社会の一員としての責任を自覚し、かけがえのない地球環境の保全と地域社会との共生を目指し、積極的に人間社会の持続可能な発展に貢献します。

本業である供給設備の維持管理・運転業務を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

事業活動に関わる環境関連法規、条例その他、取引先の環境方針の要請事項、要求事項を遵守いたします。

全従業員一丸となって継続的に改善活動に自主的・積極的に取り組みます。

環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制の制定・改訂をフォロー遵守し、また、当社が約束したことを遵守します。
 2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 3. 廃棄物の発生抑制につとめ、建設副産物のリサイクル率の向上に努めます。
 4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
 5. 化学物質(塗料や溶剤)の量把握及び適正管理に努めます。
 6. 環境に配慮した工事に努めます。
 7. 業務品質(事故、トラブル、クレームの削減)の向上に努めます。
 8. 資源等の使用量の削減に努めます。
 9. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。
- ・事業活動に関わる環境への負荷の減少に取り組みます。
- ・環境経営方針を全従業員に周知します。

2023年4月1日

協成エンジニアリング㈱

代表取締役社長

鮫島 忠志



環境保全への行動指針

- 1 . 二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - ・電気、ガス使用量の削減
 - ・ガソリン使用量の削減
- 2 . 水使用量の削減に努めます。
- 3 . 一般廃棄物排出量の削減に努めます。
- 4 . 産業廃棄物の適正処理に努めます。
- 5 . O A用紙購入量の削減に努めます。
- 6 . 業務品質の向上に努めます。
- 7 . 事故、トラブル「ゼロ」を維持します。



組 織 の 概 要

(1) 名称及び代表者名
協成エンジニアリング株式会社
代表取締役社長 鮫島 忠志

(2) 所在地
本 社 大阪市西区千代埼1丁目2番36号
TEL 06-6581-6340
FAX 06-6581-6860

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 部長 佐伯 正裕 TEL: 090-6204-8230
担当者 前原 有里

(4) 事業内容
都市ガス供給設備の維持管理・運転操作

(5) 事業の規模
売上高 21,700 万円 ※2025年1月22日現在

	2025/1/22				合計
従業員 名	21 名	名	名	名	21
延べ床面積 m ²	642 m ²	m ²	m ²	m ²	642

(6) 事業年度 2024年1月1日～2024年12月31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 協成エンジニアリング株式会社
対象事業所: 本 社

対象外: なし
活動: 都市ガス供給設備の維持管理・運転操作

□事業の紹介



【ガバナ定期分解作業】

【バルブ整備作業】

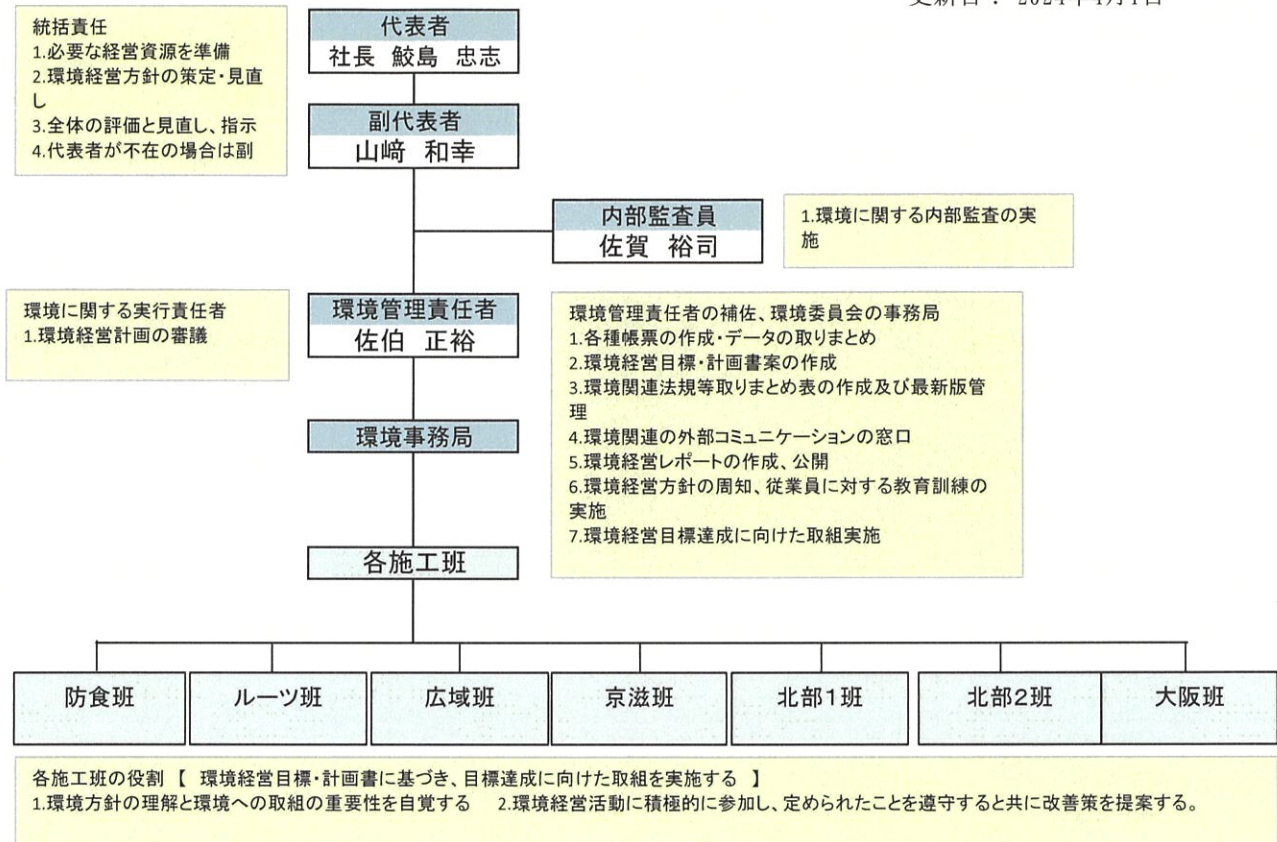
【バルブ操作作業】

【防食電位測定作業】

当社は、ガス導管の維持供給工事会社で、需要家の安全を守る業務を行っています。主に、整圧器、バルブの分解点検と導管の防食管理の業務です。保安向上を行うことで、導管を長期に亘保ち環境に貢献をしています。

環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2024年4月1日



主な環境負荷の実績

項 目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	94,320	90,509	82,733
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	1,792	1,757	1,423
産業廃棄物排出量	kg	18,100	11,365	8,710
水使用量	m ³	1,383	1,545	1,530
※電力の二酸化炭素排出係数（調整後）		0.318	0.318	0.318
※2022年度のデータは期初から期末まで		関西電力	関西電力	関西電力
※負荷の実績は工事現場を含む				

kg-CO2/kWh

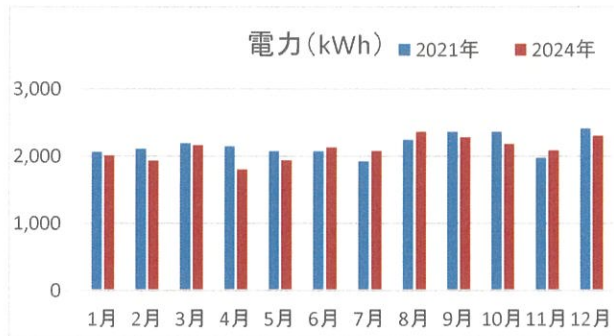
環境経営目標及びその実績

項 目		2021年	2024年		評価	2025年	2026年
		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	8,083	7,841	7,989	×	7,760	7,679
	使用量(kWh)	25,419	24,656	25,121	×	24,402	24,148
	基準年度比		97%	99%	×	96%	95%
原単位		kg-CO2/千円	0.033	0.032	×	0.031	0.031
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO2	29,108	28,235	25,043	○	27,944	27,653
	使用量(m3)	13,476	13,072	11,594	○	12,937	12,802
	基準年度比		97%	86%		96%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	51,678	50,127	49,702	○	49,610	49,094
	使用量(ℓ)	22,275	21,607	21,423	○	21,384	21,161
	基準年度比		97%	96%		96%	95%
上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO2	88,869	86,203		85,314	84,426
一般廃棄物の削減	kg	1,190	1,154	910	○	1,143	1,131
	基準年度比		97%	76%		96%	95%
産業廃棄物の管理	kg	18,100	17,557	8,710	○	17,376	17,195
	基準年度比		97%	48%		96%	95%
水道水の削減	m ³	1,383	1,342	1,530	×	1,328	1,314
	基準年度比		97%	111%		96%	95%
環境に配慮した工事の推進	トラブル発生	0	0	0	○	0	0
	事故発生	0	0	0	○	0	0
	クレーム発生	0	0	0	○	0	0

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

①数値目標:○達成 ×未達 ②活動:○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	全体的には、空調機器(GHP)の取替え、照明機器のLED化を実施した事により、二酸化炭素の削減が出来たと思います。今後も引き続き、空調温度の適正化、不要時の照明の消灯等に注視していきたい。 【挽回策】 ①空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)の再確認(特に7月～9月の取組み強化月間) ②不要時の照明機器の消灯の徹底 ③時間外労働の短縮する事により使用量の削減
原単位目標	×	
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・不使用時のPC電源OFF	△	
【次年度挽回策】		
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)再徹底をする		
・照明設備のLED化による使用量削減効果の検証		
・不使用時のPC電源OFFの再徹底を行う。		



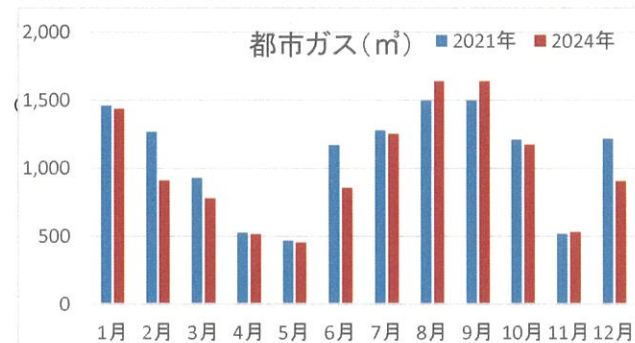
取組紹介欄

- ◎最も空調使用量が多くなる時季
 ①執務室の分割を無くす
 ②時間帯による換気量の調整(窓の開閉調整)

取組強化期間 7月～9月

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年	2,051	2,096	2,180	2,132	2,059	2,060	1,913	2,232	2,351	2,351	1,964	2,405
2024年	1,997	1,922	2,149	1,789	1,926	2,118	2,066	2,349	2,268	2,168	2,075	2,295

都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	空調機(GHP)の取替え及び湯沸器の取替えによた事により、都市ガスの使用量を大きく削減する事が出来た。来年度も引き続き、空調温度の適正化、入浴時間の同一化する事により、使用量削減を目指す。
・お湯の沸かしすぎ・無駄遣いをしない	○	
・湯沸し時間の適正化	○	
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・当直時風呂、冷暖房の適正運転	○	



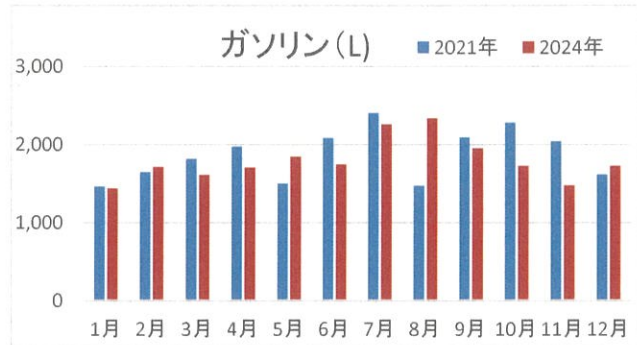
取組紹介欄

- ① 空調機使用の適正化
 ② 空調温度の管理
 ③ ガス使用量の管理

取組強化期間 6月～12月

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年	1,456	1,262	923	521	462	1,165	1,275	1,492	1,492	1,205	515	1,214
2024年	1,432	906	773	509	448	850	1,249	1,635	1,635	1,169	526	901

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	関東方面の長距離出張が減った事で、ガソリンの使用量が減ったと思われます。10月には車両1台を入替を実施。今度のガソリン使用量削減に期待したい。 【挽回策】 ①エコドライブの徹底 ③アイドリングストップ ②タイヤ空気圧の適正保持
・エコドライブの徹底	△	
・タイヤ空気圧適正保持	△	
・不要な荷物を積まない	○	
【次年度挽回策】		
・燃費を意識したエコ運転に心掛ける。		
・車両積載道工具の適正数量の確認		



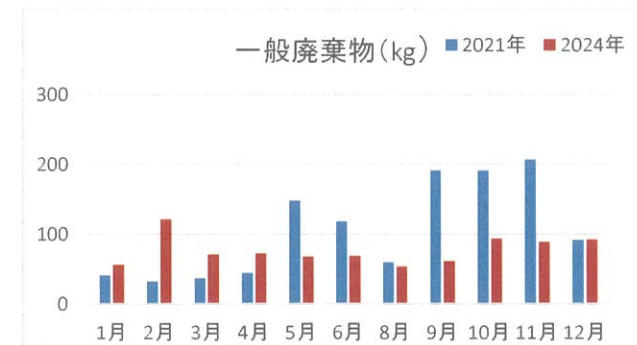
取組紹介欄



- ① エコドライブ・アイドリングストップの推進
- ② 車載道工具の整理整頓・適正化
- ③ 各車両毎のガソリン使用量の管理

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年	1,456	1,638	1,808	1,962	1,491	2,073	2,393	1,463	2,083	2,269	2,033	1,605
2024年	1,432	1,703	1,602	1,696	1,837	1,736	2,249	2,326	1,942	1,717	1,468	1,716

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	10月以降はお客様への報告方法が紙媒体から電子化された事により、紙の使用量を減らす事が出来た。半面、個人情報保護の観点から裏紙の使用が困難になってきている為、印刷前に間違いが無い事を確認して印刷を行う等、廃棄物削減を目指して行く。引き続き廃棄物の分別を徹底し、リサイクルの促進を行う。
・分別の徹底	○	
・リサイクルの促進 (紙・段ボール・缶・ビン・ペットボトル等)	○	
・裏紙用紙の使用	×	
【次年度挽回策】		
・FAX受信からメール添付への頻度を増加させる。		
・印刷する前にプレビュー画面での確認		



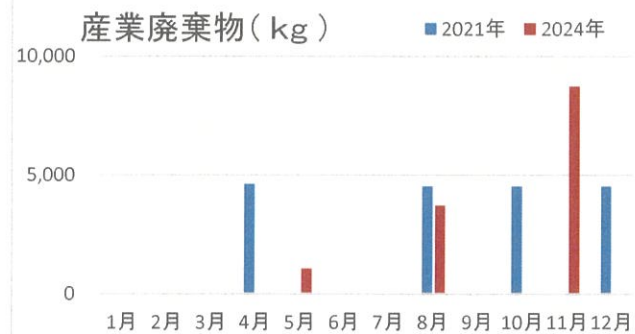
取組紹介欄



- ① ゴミの分別化
- ② 裏紙用紙の使用推進
- ③ 両面コピーの促進

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年	40	32	36	43	147	117	53	59	190	190	206	90
2024年	55	121	70	72	67	68	72	53	60	93	88	91

産業廃棄物の管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	人員が減少して、工事受注量が減った為に廃棄物の削減の要因にもなっている。次年度も廃棄物の種類別分類を適正管理を継続して行く。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・素材別メッシュパレットの設置	○	
・リサイクル業者の開拓	○	



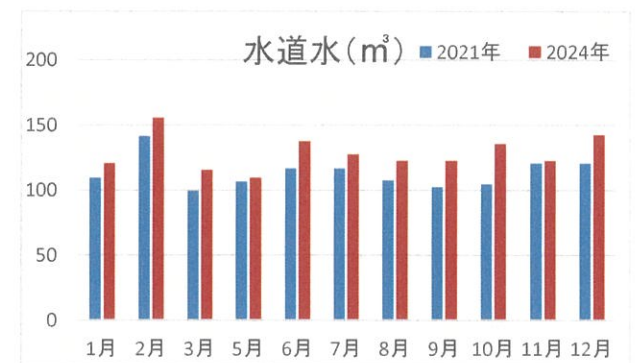
取組紹介欄



- ①産業廃棄物の適正処理管理
- ②産業廃棄物管理票 建築系廃棄物マニフェストの管理
- ③産業廃棄物の種類別による重量換算係数の適正運用 (2023年より)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年	0	0	0	4,600	0	0	0	4,500	0	4,500	0	4,500
2024年	0	0	0	0	1,040	0	0	3,695	0	0	8,710	0

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	・夜間業務が増えた事により、お風呂の使用時間にバラつきが見られた。又、上記理由により洗濯機の使用頻度も増えてしまった。次年度は、出来る限り、作業服の洗濯を纏めて行い洗濯機の使用回数を減らすように努力する。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・節水弁取り付け	○	
・使用中のこまめな止水（垂れ流し禁止）	○	



取組紹介欄



- ①使用中のこまめな止水の実施
- ②月次開催の全体会議での節水の呼びかけを実施

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年	109	141	99	143	106	116	116	107	102	104	120	120
2024年	120	155	115	124	109	137	127	122	122	135	122	142

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・トラブルの発生防止に努める	○	・年間を通じて、お客さまからのクレームや事故・トラブル等の発生は無かった。一年間継続して、現場で発生しリスクを抽出し、対策を考案し周知する「リスクマネジメント活動」の成果と思われる。次年度も継続し実行する。
・事故の発生防止に努める	○	
・クレームの発生防止に努める	○	
・品質向上プログラムによる工事品質の確保	○	



取組紹介欄

作業品質の向上を目指して品質向上プログラムを実施しています。

①事故・トラブルの防止に向けたリスクマネジメント活動 1回/月

②事故事例勉強会の開催 1回/月

③事故事例を自社の作業に当てはめての自分ごと勉強会 1回/月

課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・歯車活動の実施による技術の向上	○	・大阪ガスネットネットワークさま、地方ガス会社さまからの受注した工事についてクレーム、事故、トラブルの発生は無かった。次年度も引き続き技術習熟訓練、勉強会を実施し、無事故、無トラブルを目指す。
・事故事例勉強による危険予知訓練	○	
・元請機能評価制度による事故防止と高品質な	○	
・管理監督者による現場点検の実施	○	
・ヒヤリハット収集と月次重点項目の実施	○	



取組紹介欄

①歯車活動による現場・自社実習場での技能伝承活動

②事故事例を自社の作業に当てはめての自分ごと勉強会

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	委託基準一般廃棄物収集業者の許可確認、保管基準、マニフェスト交付管理 産廃収集運搬・処分業者の許可の確認、委託契約 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出、自社による運搬時の表示
騒音規制法	特定施設の事前届出、地域別騒音基準の順守
振動規制法	地域別振動基準の順守
水質汚濁法	油及び有害物質の流出事故時の措置と届出
フロン排出抑制法	第1種特定機器、簡易点検（すべて1回/3ヶ月以上）有資格者による定期点検
労働安全衛生法	SDS義務のリスク評価・2024法改正に伴う化学物質管理責任者・防護服管理者の選任、及び管理
消防法	指定数量未満の危険物保管の扱い、火元責任者による火元確認
家電リサイクル法	特定家庭用機器をなるべく長期間使用、再商品化に必要な料金の支払い
自動車NOx・PM法	対策地区内で排気ガス規制に適合した自動車の使用

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

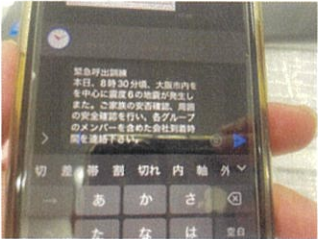
尚、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

ガバナ（整圧器）やバルブ（仕切弁）等、都市ガス供給設備のメンテナンス作業時のお客さま対策として、作業に影響があると思われるお客さまには事前にPRを実施すると共に、当日作業前、作業完了には声掛け（作業開始・完了の連絡とご迷惑をお掛けしたお礼）を確実に実施する。又、どのような作業を行っているかについても、その目的等をご理解いただくよう説明に努めている。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定：火災の発生	
■実施日：2024（令和6）年1月9日（火）・10日（水）の二日間	■実施場所：大阪ガスネットワーク（株）技能開発センター
■参加者：佐伯、山崎、川崎、森北、小川、千代田、田中臣昭、森田、田中智、辻野、忠岡、工藤、峰見、藤原、平山、戸高、溝口、池田、西口、野田、山中（計21名）	■実施内容： 消火訓練及び消火器使用法と日常点検
■評価：消火器の効率的な使用による消火方法・消火器の日常点検方法について講習を実施した	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子	
	
【消火訓練場を利用】	【技能開発CTレーナーに指導教育】

緊急事態の想定：休日・夜間における緊急呼出し訓練	
■実施日：2024（令和6）年2月3日（土）8：30～12：00	■実施場所：事務所
■参加者：佐伯、山崎、川崎、千代田、森北、田中、森田、辻野、忠岡、田中臣、工藤、峰見、藤原、小川、戸高、平山、溝口、池田、西口、山中、（計20名）	■実施内容： ・休日・夜間に災害発生を想定した緊急呼出し訓練 ・管理者からLINEグループを活用し、メンバーに発信
■評価：呼出し発信後約40分以内で呼出し対象者全員からの返信連絡があり出社時間は平均2.5時間程度であった。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子	
	
【LINEグループを活用】	【管理者による発信・着信確認】

代表者による全体の評価と見直し・指示

2024年度の「エコアクション21」への活動評価について

- ・環境経営の方向性の社内周知を基に、各項目への取り組みが積極的に行われた。
- ・環境経営目標については、単年度目標には可否にばらつきが有るが、2021年度実績よりは改善。
- ・「水道水の削減」項目以外は、数値が改善されている。
水道水の使用量についても増加理由は(夜間業務の増加)と明確になっております。
- ・経営者としては、環境経営の方針を社員各々が理解し、各々が率先して取り組むことを望みます。

指示事項について

- ・環境委経営への取り組みを社員に継続周知。
- ・経営環境を判断し、目標値の見直し。

環境経営方針

環境経営目標・計画

実施体制

☒ 変更なし

☐ 変更なし

☐ 変更なし

☐ 変更あり

☒ 変更あり 基準年の実績を踏まえて見直すこと

☒ 変更あり

これまでの環境活動の紹介



事務所内照明LED化



産業廃棄物の分別管理



一般廃棄物の分別管理



適正室温の推奨



車載工具類の整理整頓



ガソリン削減活動

□編集後記

・今年度は、空調機(GHP)の取替え、照明機器のLED化により、大きくエネルギーの削減が出来た。又、人員減少の影響により施工能力が減少した為に、受注量が減少し売上も前年度を下回る結果となった。国際情勢の影響によるエネルギーの原価高騰や地球温暖化によるエネルギー使用量の増加が想定されますが、エコアクション21の活動を基に、従業員一同更なる温室効果ガス削減に取り組んでいきたい。